

2025年

8月

瀬戸蔵ミュージアム

Setogura Museum

瀬戸のやきものづくりの総合ミュージアム。
やきもののまち瀬戸を体感できます。
(入口は瀬戸蔵の2階です)

催物案内



『瀬戸町誌』発刊110年

中央通りギャラリー

大正時代の瀬戸と印刷技術

大正天皇の御大典を記念して編纂された『瀬戸町誌』は、瀬戸に関する公式な地誌となる最初の書籍で、大正4年(1915)に発刊されました。

本展では、『瀬戸町誌』発刊110年を記念して、大正時代までの瀬戸の様子を紹介します。また、近年寄贈いただいた資料に、本誌掲載の写真図版を印刷するための原版が見つかりました。原版と共に大正時代頃の印刷技術についても紹介していきます。



『瀬戸町誌』1915年発行
瀬戸蔵ミュージアム蔵

8月23日(土)から11月30日(日)まで

企画展示室

瀬戸電開通120周年記念特別企画展

「せとでん やきものの街・瀬戸と歩んだ120年」

「せとでん」として親しまれている名鉄瀬戸線は、明治38年(1905)に瀬戸自動鉄道の瀬戸～矢田間が開通したのが始まりです。瀬戸と名古屋を結ぶ旅客輸送の手段であっただけでなく、瀬戸のやきものを運ぶという役割もありました。そのため、設立時の主要株主には、瀬戸の代表的な窯業家が名を連ねていました。

本展ではせとでん開通120年を記念して、市民公園に展示されていた車両の部品や様々な資料などを通して、その歩みを振り返ります。



『清水橋近くの城壁』昭和49年(1974) 撮影/鈴木裕幸

8月24日(日)まで



開館時間: 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
入館料: 一般: 520円、65歳以上・高校生・大学生: 310円、
中学生以下・妊婦・障害者手帳をお持ちの方: 無料
年間パスポート: 一般1570円、65歳以上・高大生940円

8月25日(月)は休館日です

お問い合わせ 瀬戸蔵ミュージアム 電話 0561-97-1190